

Ⅲ. 統計資料等を活用した県内景気動向等の分析調査

Ⅲ.3. 商圏内の消費購買動向のポイント

1. 調査の概要

宮城県の商圏（消費購買動向調査報告書）の概要について

1 調査の目的

- 県内における商圏の変化や消費購買動向の実態を明らかにし、地域商業の振興に活用する。
- 昭和 53 年の第 1 回調査から 3 年おきに実施（前回調査：平成 30 年度）。今回で 15 回目。

2 調査の概要

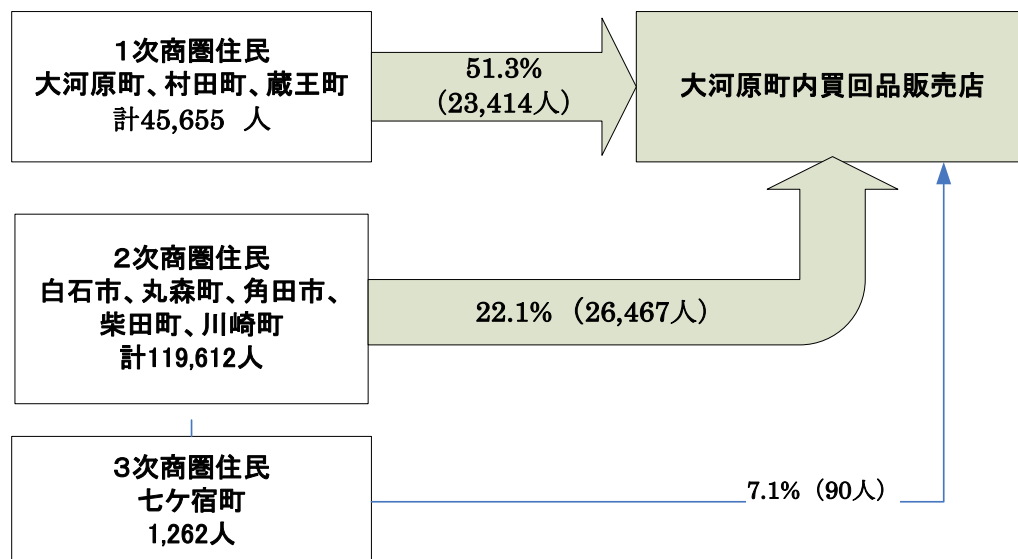
- (1) 調査実施時期 令和 3 年 10 月中旬
- (2) 調査方法 県内公立小学校 3 年生児童の保護者を対象としたアンケート調査
- (3) 調査数 有効回答数 9,574 / 調査票配布数 11,926（有効回答率 80.3%）

《本調査における用語の定義》

- ・商圏 = 商圏中心市区町村へ買回品の購入に訪れる人々の範囲。
〔買回品の購買先支持率を基準に地元購買率が 30%以上で、かつ吸引率が 15%以上の市区町村を有する場合、「商圏が形成されている」と定義。〕
 - ・商圏中心市区町村 = 地元及び周辺の市区町村から多くの人が買回品の購入に訪れる市区町村。
商圏の中心。
 - ・吸引人口 = 商圏人口のうち、商圏中心市区町村へ買回品の購入に訪れる人数。
 - ・買回品 = 衣料品、靴・バッグ・アクセサリ、スポーツ・レジャー用品、書籍・文房具、玩具・ゲーム、家具・インテリア用品、家電・パソコン類、贈答品。
- ※調査分析は、過去の調査との比較のため、平成 14 年以前の旧市区町村単位となっている。

2. 大河原町の商圏（買回品購入に大河原町利用）

- 人口比率で白石ブロック(仙南 9 市町)の 30%



3. 大河原町地元購買率・買物先店舗形態・店舗場所・選択理由

	最寄品	買回品	サービス
地元購買率	79.9%	55.1%	79.7%
買物先店舗形態	① 食品スーパー(53.9%) ② 大型専門店・量販店(17.2%) ③ 百貨店・総合スーパー(11.6%) ④ 生協・農協(6.5%) ⑤ 一般商店・専門店(5.9%)	① 大型専門店・量販店(45.6%) ② ネットショップ等(18.1%) ③ 百貨店・総合スーパー(16.4%) ④ 一般商店・専門店(14.3%)	
買物先店舗場所	① 中心部(51.4%) ② 郊外(バイパス沿い等)(43.1%)(*) ③ その他(5.5%)	① 郊外(バイパス沿い等)(47.4%) ② 中心部(34.2%) ③ その他(18.4%)	① 郊外(バイパス沿い等)(63.7%) ② 中心部(28.6%) ④ その他(7.7%)
買物先の選択理由	(食料品)(上位4位まで) 近くて便利 35.9% 価格が安い 18.8% 品数が豊富(*) 12.8% 品質が良い(*) 10.7% (日用雑貨) 品数が豊富 25.3% 価格が安い 19.2% 近くて便利(*) 16.7% 品質が良い(*) 13.5%	(衣料品)(上位6位まで) 近くて便利 32.6% 品数が豊富(*) 17% 価格が安い 15.6% 一か所で買い物ができる 9.7% ポイントカード等がある 8.3% 品質が良い(*) 5.6%	
地元商店・商店街に求める役割(上位4位まで)	① 日用品・食料品の販売(25.6%) ② オリジナル商品・限定品等の販売(16.6%)(**) ④ 地域コミュニティの拠点(12.3%)(**), ④ まちのにぎわい創出の担い手(12.3%)		③ 外食サービスの提供(14.3%)

● 白石ブロック平均に比べて大河原町に特有な選択理由・要望

(*)大河原町民の買物先選択理由には、「価格が安い」の他に「品ぞろえや品質」で買物先を選択する割合が白石ブロック（仙南地区）内で相対的に大きい。

(**)地元商店・商店街に「地元ならではの商品・サービスの提供のニーズ」の他、「地域コミュニティの拠点（地域の交歓の場）を求めるニーズ」が大きい。

4. 各市町の購買先の分析

白石ブロック（仙南 9 市町から:from）の購買（利用）先区分（へ:to）の状況

◎：50%以上；○：25%以上；△：10%以上；▲：10%未満；無記入：調査結果 0%

● 最寄品

区分		大河原近郊 6 市町						その他		
購買元市町(from)		大河原町	村田町	蔵王町	柴田町	角田市	白石市	丸森町	川崎町	七ヶ宿町
購買先 (to)	大河原町	(=地元)	○	△	▲	▲	▲	▲	▲	
	名取市・仙台市	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	◎	
	地元	◎	○	◎	◎	◎	◎	◎	○	▲
	その他	△	△	○	▲	△	▲	○	▲	◎

● 買回品

区分		大河原近郊 6 市町						その他		
購買元市町(from)		大河原町	村田町	蔵王町	柴田町	角田市	白石市	丸森町	川崎町	七ヶ宿町
購買先 (to)	大河原町	(=地元)	○	○	△	△	○	△	△	▲
	名取市・仙台市	△	○	○	○	○	△	○	◎	○
	地元	◎	▲	▲	○	○	○	▲	▲	
	その他	△	△	△	△	△	△	○	△	◎

● サービス(家族連れ外食)

区分		大河原近郊 6 市町						その他		
購買元市町(from)		大河原町	村田町	蔵王町	柴田町	角田市	白石市	丸森町	川崎町	七ヶ宿町
利用先 (to)	大河原町	(=地元)	◎	◎	○	○	△	○	△	
	名取市・仙台市	△	△	△	○	○	△	○	◎	
	地元	◎	▲	▲	○	○	○	▲	▲	
	その他	▲	△	△	▲	△	△	△	△	◎

- 大河原町が仙台圏（名取市・仙台市）に対抗して、買回品、サービス（家族連れ飲食）の依存度を高めるためのポイントは次の通りである。
- ① 買回品については大河原町は特徴ある商品、あるいは付加価値としてのサービス提供（買い物のアドバイスなど）が必要である。
- ② サービス（家族連れ外食）は買回品に比べ、名取市・仙台市の影響は比較的小さい（地の利の優位性がある）。仙台圏で受けられるサービスと同等か、または特徴あるサービスの提供が依存度（吸引力）を高めるために必要となる。